

Q. 心を鍛える方策をまちづくりの土台に
多様な活動を通じ心の豊かさを培う

Q. 幼保一元化を目指すのか
子ども、保護者に配慮した検討が重要

学級崩壊・兆候は

質問 このほど、北海道教育委員会より学級崩壊やその兆候のある小中学校数が発表されたが、本町の現状と対応方策を伺う。

教育長 小中学校とも学級崩壊や兆候についてはその心配がない。

対応策として、教職員は年度初め、生徒指導研修会を開催し生徒に関する共通理解を図っている。さらに、問題行動の早期発見、早期解決を図るため年4回、学級経営交流会を開いている。

生徒に対しては、人間関係の調査や教育相談を行い、悩み事等の把握と解決にあたるとともに、生徒会活動として、あいさつ運動やいじめのない学校づくりを目指した多様な取り組みの指導が行われている。これらは中学校での様子であるが、これらの活動が効果的に作用し落ち着いた学校となっている。今後も、教師と生徒の信頼関係構築への支援に努力したい。



後木 幸里 議員

心を鍛える方策は

質問 心を鍛える方策をまちづくりの土台とし、健康でいきいきと暮す町を目指すとの考えは。

町長 町民憲章に「心とからだをきたえ、健康で明るいまちにしましょう」とあり、自分自身を高め、人生のあらゆる事象に素直に向き合い、学習や社会生活を通じ自らを律する力を身につけ、心身ともに成長し、心健やかで健康に暮す住民像が表現されている。

町は、幼児教育、家庭教育、学校教育、社会教育、健康教育、文化活動、スポーツ活動を

等々を積極的に支援するとともに、施設整備や指導者養成にも配慮してきた。今後も、これらの施策を継続発展させるよう努力し、心身ともに健康な人づくりに努めたい。

町民の思いや意見が
生かされるまちづくり

質問 新聞の読者投稿欄は市井の多様な意見や思いが感じられる。本町では町民の意見を汲み取り町政に生かしているのか。

町長 町政を推進する上で、町民各層の考えを拝聴することは最も重要である。総合計画にある「みんなが主役で創るまち」の軸は「住民の意見反映」である。これまで、「よつこそ町長室」や「まちづくり懇談会」で町民の意見を要望を直接聞いてきた。

また、まちづくりアンケート調査における自由意見記入や地域サポーター職員から間接的ではあるが地域の思い等を聞き取っている。このこと

は、まちづくりの主役である町民の声として真摯に拝聴し、可能な限り早期解決に努力している。今後も、このような方法を充実させ、住民参加が実感できる行政の推進に邁進する。



樋坂 里子 議員

幼保一元化の考えを聞く

質問 保育園の指定管理を3年としたのは国が考えている幼稚園と保育園の一元化を目指していることか。

町長 幼稚園と保育園を統合する「子ども園構想」が検討